

著者	信時裕子
タイトル	曲目解説 信時潔 歌曲《春秋競憐判歌》(額田王詞)
掲載書(誌)等	戦没学生のメッセージII トークイン・コンサート 戦時下の音楽—教師と生徒 [プログラム]
発行所	
年月(日)	2018.07.29
備考	主催：東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学 会場：東京藝術大学奏楽堂

URL <https://nobutoki.com/plugin/databases/detail/26/57/703#frame-57>

注： PDFは著者最終版

曲目解説

「春秋競憐判歌」 額田王作歌 信時潔作曲

昭和17年12月作曲。東京藝術大学附属図書館信時潔文庫に、自筆譜、筆写譜が保存されている。楽譜は未出版。自筆譜の見出しは「春秋競憐判歌（万葉集巻一）額田王」。妻ミイによる筆写譜2点（貴重楽譜598、599）は、音符、歌詞や作曲者による書き込みに違いがある。演奏記録は長らく確認できていなかったが、放送記録を網羅的に調査した結果、《秋山われは》（19年11月20日 菊地綾子、ピアノ伴奏 萬澤恒）の初演記録を発見。最終版と思われる筆写譜（598）では、別掲歌詞の末尾が「そこし^{たぬ}し 秋山^あれは」とされ、時期的に考えて、鹿持雅澄著『萬葉集古義 第一巻』（目黒書店 20年12月）を参照した可能性が高い。歌詞を「秋山^あれは」に改め、初演時の「秋山われは」ではなく「春秋競憐判歌」をタイトルとしたのだろう。『音楽之友』23年4月号に掲載された「信時潔作曲一覧」（「信時潔氏と語る（対談・武川寛海）」）には「春秋競憐歌（額田王）」と記されている。

（信時裕子）